

# 訪問看護ステーション あざぶだより

Vol. 07

2023年9月号

今年は猛暑が続いていましたが、少しずつ朝晩は涼しい風を感じる季節になってきました。いかがお過ごしでしょうか。当ステーションでは高次脳機能障害の方への介入にも積極的に取り組んでいます。今回は日常生活が拡大できた事例を紹介をさせていただきます。



## 高次脳機能障害への支援とリハビリテーション

【事例紹介】（\*一部情報を加工しています）

70代男性 妻と二人暮らし 病前は料理や、習い事や庭作業など活動的であった。注意障害と記憶障害、左半側空間無視が主。注意散漫なことが多く記憶の定着が難しい方でした。ご家族は高次脳機能障害への知識は不十分で夫婦喧嘩が多くみられる状況でした。

### 【アプローチしたこと】

- ・パンフレットを用いて高次脳機能障害の説明、日常生活での症状の出方を具体的に説明
- ・フィードバックを繰り返し、対応策の提案と練習
- ・高次脳機能訓練、メモ活用方法の指導、
- ・屋外/調理等の自立に向けたルール提案



### 【結果】

- ・適宜目標の共有したことで、病気に対して妻の理解が深まり喧嘩が減った。
- ・自宅周辺は屋外歩行自立となり床屋やコンビニに買い物にいけるようになり、庭作業も行え、家族も安心できた。
- ・調理もコンロは2口同時に使わないルールを設けて再開できた。
- ・生活全般が落ち着かれ通所サービス開始でき、交流の場ができた。

高次脳機能障害は目に見えない病気と言われ、認識、理解が得られにくいことが多く、馴染みのない障害名により不安な反応を示してしまう方もいます。また、精神的に負担がかかり自信を無くす方が多く、関わり方がとても重要になってきます。さらに、ご家族も接し方がわからずお互いにストレスを抱えてしまうこともあるため、ご家族への関わり方の助言や環境調整等も必要な場合が多いです。お困りの方がいましたら、ぜひご相談ください。



医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

訪問看護ステーションあざぶ

TEL 011-712-0085

訪問地域：北区、東区 従業員：看護師、理学療法士、作業療法士

介護保険・介護予防訪問看護：緊急時訪問看護加算・特別管理加算・ターミナルケア加算

医療保険：24時間対応体制加算・特別管理加算

営業時間：平日 8:30~17:30

\*脳神経外科疾患以外も、癌・難病・認知症・看取り等様々な病気を担当しております。

住所：〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40 札幌麻生脳神経外科病院 1階